

< 基本操作編 >

基本的な操作方法については、FOMA N900iL をご購入時に添付されている取扱説明書 < 基本編 > P72 ~ をよくお読みのうえご利用願います。



FOMA N900iL を利用して困った場合は取扱説明書 398 ページ以降をご確認下さい。



< 保留操作編 >

保留方法

< 通話中保留 >

通話中の通話を保留することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。
相手に保留音が流れます。
保留中に相手が電話を切った場合は、通話が切れます。
2. 電話に出られる状態になったら **FILE** を押す。
FOMA N900iL が一度「待受け画面」になりますが、相手側には、保留音が流れております。
3. 約 5 秒後に FOMA N900iL が鳴動する。
4. FOMA N900iL が着信したら **FILE** を押し、お話することができます。

< 保留解除時のポイント >

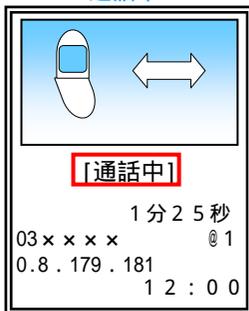
通話中の状態で、**CLR** ボタンを押す。
再度 **CLR** を押しても通話に戻ることはできません。片通話になります < 注意 >

< 通話中 >

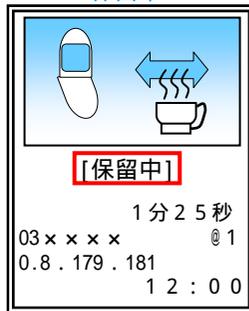
< 保留中 >

< 保留中 >

< 保留中(鳴動) >



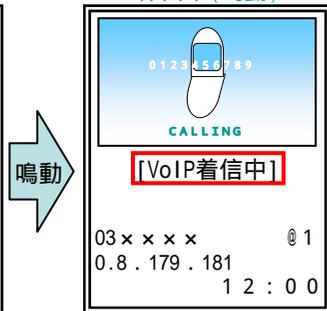
CLR を押す。



保留状態のまま **FILE** を押す。



約 5 秒間程度待受け画面になります。



FOMA N900iL が着信し鳴動する。

再び通話
に戻ることが
できます。

上記操作以外の動作をした場合(再度 **CLR** ボタン押下等)をした場合に、片通話等の事象が発生します。その場合、再度上記手順に従い操作してください。

通話中の通話を保留し、システム内の電話機(内線)や他の電話番号に転送することができます。

1. 通話中に  を押す。
2. ディスプレイに【保留中】と表示されていることを確認。
3. 転送したい内線番号、または外線番号をFOMA本体の数字ボタンをダイヤルする。
4. 転送したい相手先と通話している状態で  を押す。 < 転送終了 >

相手先が話中または、不在等で保留した通話に戻る場合でも  を押して下さい。
 その場合、通常の保留操作の動作となりFOMAN900iLが鳴動します。

< 保留転送時のポイント >

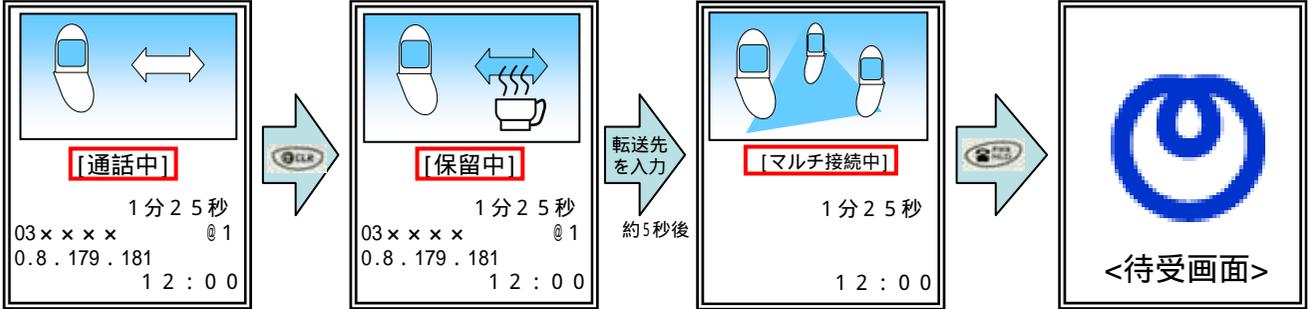
 等の操作ボタンを押下する必要はございません。転送先をダイヤルしそのままお待ち下さい。
 【保留中】と表示されていることを必ず確認した後、転送先をダイヤルしてください。

< 保留前 >

< 保留中 >

< 転送中 >

< 終了 >

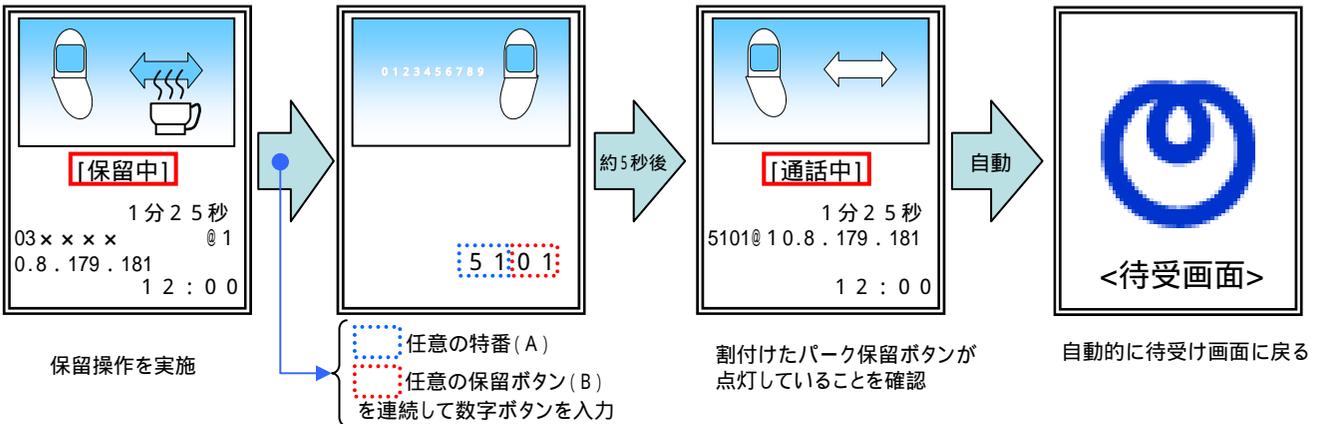


パーク保留を利用して保留する。

< パーク保留 >

通話中の通話を保留し、システム内で保留して共有することができます。

1. 通話中に  を押す。
2. ディスプレイに【保留中】と表示されていることを確認する。
3. パーク保留用の特番(A):保留時 + パーク保留番号(B) をFOMA N900iLの数字ボタンを押す。
 任意の特番はお客様個別に設定可能です。
4. パーク保留ボタンを設定したグループの他の内線電話機で通話できるようになります。

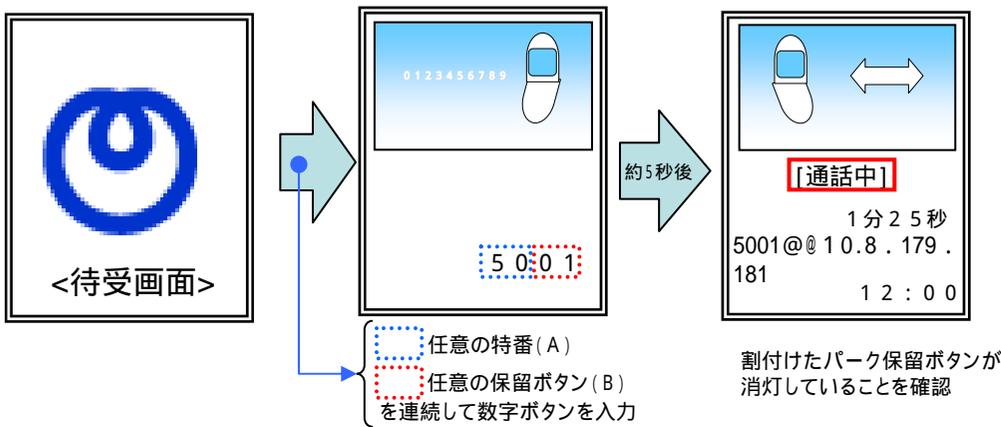


パーク保留された通話を解除する

< パーク保留応答 >

通話中の通話を保留し、システム内で共有した保留通話を解除します。

1. パーク保留用の特番(A):解除時 + パーク保留番号(B) をFOMA N900iLの数字ボタンを押し  を押す。
 任意の特番はお客様個別に設定可能です。



パーク保留用の特番(A)	
保留時	
解除時	

パーク保留番号(B)					
保留ボタン1		保留ボタン3		保留ボタン5	
保留ボタン2		保留ボタン4		保留ボタン6	

FOMA N900iL内線コードレス利用の注意事項

<WLANモードでご利用時の注意事項>

FOMA N900iLにて保留した通話を転送する場合は、ディスプレイ画面の状態を確認して操作して下さい。保留解除を行う場合は、必ず  を押す操作をして下さい。 を押した場合は、片通話となることがあります。誤って  を押した場合は、再度  を押し  を押す正しい操作を実施して下さい。FOMA N900iLで連続したボタン操作を行った場合、実行した操作が失敗することがあります。その場合、FOMA N900iLの再起動等の操作を実施下さい。詳細は、FOMA N900iLの取扱説明書「P.398ボタンを押しても何も応答しない」をご参照下さい。転送先のFOMA N900iLがWLANのサービスエリア外にいる時、FOMA N900iLへの転送はできません。もし、WLANサービスエリア外へ転送する場合は、ビジネスホン主装置の「圏外転送」の設定が必要となります。FOMA N900iLにて転送する場合において、転送先ダイヤルを入力後、転送先を呼び出す前に切断ボタンもしくは保留ボタンを押下した場合、それ以降の通話において音声を通らなくなることがあります。その場合は、FOMA N900iLの再起動等の操作を実施ください。FOMA N900iLからの発信時、WLANサービスエリア内においても「110」「112」「118」「119」「000」「08」「911」「999」等の番号(以下、特番)については、必ずFOMAネットワークへの発信となります。保留転送時、ダイヤル先に特番の番号を入力した場合、保留中のまま相手の方が切断されるまでFOMA N900iLの操作ができなくなります。その場合、FOMA N900iLを再起動してください。

保留転送時、転送先ダイヤルの後に#をつけても即時発信となりません。WLANモードでFOMA N900iLを利用中に、FOMAネットワークからの音声着信等と競合した場合にFOMA N900iLが再起動することがあります。FOMAモードでFOMA N900iLを利用中に、WLAN通信からの音声着信が競合した場合にFOMA N900iLが再起動することがあります。FOMA N900iLのマルチタスク機能はご利用になれません。相手から保留されている状態で、FOMA N900iLを保留した場合、相手へ保留音が送出されません。相手先が保留解除をしても相手側へは無音状態となります。保留中に履歴ボタンの操作した場合は、履歴に残っている番号に発信されます。WLANモードで利用する場合、「ドライブモード」「非通知着信拒否」「電話帳登録外着信拒否」等の「着信拒否」の設定をしないでご利用下さい。

<IP対応ビジネスホンの注意事項>

FOMA N900iLをシステムコードレスとして利用しWLANサービスエリア外にいるときにもFOMAネットワークで転送する場合は、IPビジネスホン主装置にて圏外転送の設定が必要となります。FOMA N900iLでパーク保留をする場合は、IPビジネスホン主装置にパーク保留の設定する必要があります。FOMA N900iLでは発信規制をかけることができません。上記のIP対応ビジネスホンの設定をする場合は、お買い求めいただいた販売担当者にお申し付け下さいますようお願い致します。IP対応ビジネスホンのパーク保留等の設定変更をする場合は、別途工事費が必要となります。